

東京都新宿区北新宿1-8-16  
 東京土建一般労働組合  
 電話03 (5332) 3971 (代表)  
 FAX03 (5332) 3972  
 発行人・編集人  
 吉川 豊

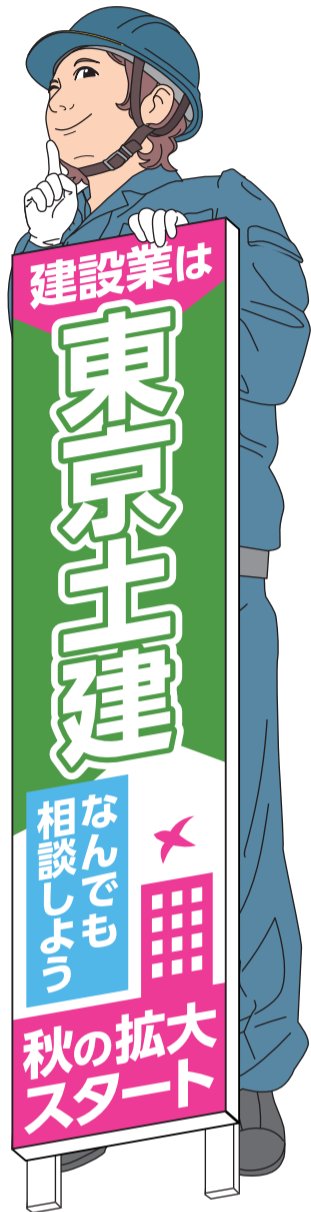
印刷部数10万8800部  
 (購読料は組合費のなかに含まれています)  
 (年間購読料 千八百円)  
 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

**東京都が新たな被害想定を公表**  
 9月1日は防災の日です。4つの首都直下地震などの新たな被害想定を、東京都が10年ぶりに公表しました。都の住宅企画部からの報告を掲載しています。  
 (関連記事3面)

# 繋がりが生かし総対話を



## 本部組織部長 檜山剛志

秋の仲間を増やす取り組み、秋の拡大月間がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の第7波、資材や物価の高騰で、仕事や暮らしの状況は厳しさを増しています。今こそ組合が役割を發揮して、その価値を広め、組織を大きく強くすることが求められています。



檜山組織部長

組合の運動にご尽力を頂き、秋の拡大月間がスタートしました。新型コロナウイルスの中で3年目となる秋の拡大月間がスタートです。新型コロナウイルスの中で3年目となる秋の拡大月間がスタートです。

【本部・書記次長・北川誠太郎】アイディホーム株式会社と組合の労働者供給事業について、2021年12月から協議を重ね、全建総連関東ら進めてきました。

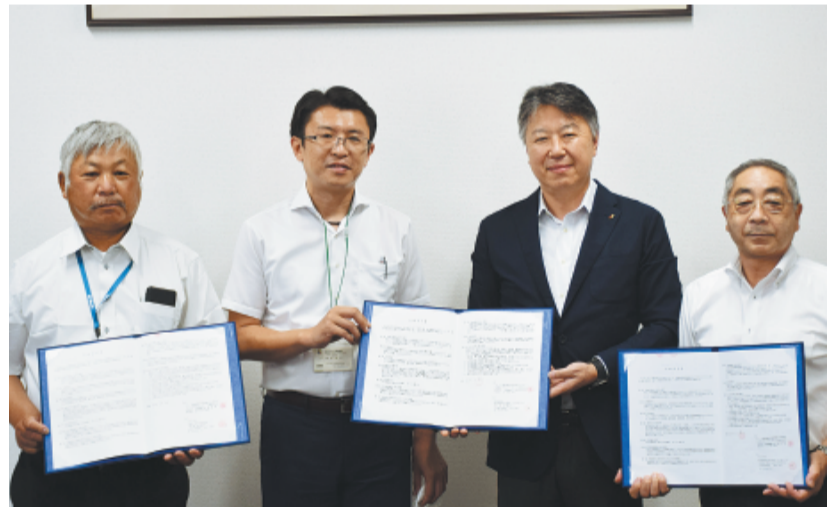
## 労働協約を締結

アイディホーム(株)と労働協約を締結しました。この8月8日にアイディホーム(株)と東京土建、東京都連、千葉土建において労働協約を締結しました。東京土建の組合員で労働者供給事業に登録をした方は、希望すれば、アイディホーム(株)の社員大工として雇用されることとなります。組合員の就労先の確保(仕事確保)であり、労働協約締結により様々な労働条件改善の交渉の具体化へ展望を持つことができます。各支部での労働者供給事業登録の呼びかけをお願いします。

秋の拡大月間、新たな仲間、新しい活動ができる仲間を増やす、地域・産業での力関係を変えたいです。悩みを抱える仲間には私たちが手を差し伸べ、月間で組織化を大きく前進させ、組織を大きく強くしていきます。

## 建設アクション 36支部で自治体へ相談業務では給付58億円

「誰一人取り残さない」と、コロナ禍の中で行なわれた建設アクションの取り組みで、東京土建36支部のすべてで、自治体に対して要請、陳情、請願行動が行なわれました。  
 (一部予定を含む)。これは、これまでの訪問対話や補助金申請の相談業務などを通じて直に聞いた仲間の声・要求を実現するための、大変重要な取り組みとなります。  
 全支部が要請を自治体、議員(会派)、首長などに  
 支部、インボイス中止などが16支部、コロナ関連の生活支援11支部などとなっています。西多摩支部では「新型コロナウイルス感染症と原油・原材料の高騰の打撃から経営  
 また、「持続化給付金」「月次支援金」「事業復活支援金」などの給付金・支援金や雇用調整助成金などに係る相談では、これまで1万9815件に対応して  
 難に直面する市内業者への支援を求める要望書を支部管轄の首長市長あてに提出、地域と共に8月末に議会へ働きかけを強める予定  
 うち1万1761件を申請した結果、組合員に生活と仕事に関する57億9969万円が給付されるという、大きな成果につながっています。  
 建設アクションは、組合員の生活と仕事の悩みを寄り添い、横のつながりを作り、情報が入りつらいう建設従事者を孤立させず組織化する取り組みです。秋の拡大月間の行動などと連動させて、引き続き取り組んでいきます。



写真左から千葉土建の若菜副委員長、アイディホーム(株)生産管理課の豊泉課長、東京土建の中村委員長、東京都連の菅原委員長

- アイディホーム(株)と締結した主な労働条件**
- ①雇用条件は1年の有期雇用で更新されることで雇用が継続されます
  - ②労働条件は1日8時間で週休二日
  - ③月収44万2千円以上(条件:1ヵ月に2棟を施工)、残業代別途支給
  - ④交通費支給。社会保険完備。⑤ボーナス年2回支給
- ※詳細は本部登録説明会で応募者に説明

**東京土建国保**  
 保険料減免制度あります  
 東京土建国保組合に加入の方で新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少が見込まれる方はぜひご確認ください。  
 お問い合わせは 所属の各支部へ

**朝やけ**  
 ■教えるって書いて、日本語では教育という。ただ英語でそれを意味するエデュケーションのニュアンスは少し違うらしい。その語源をさかのぼるとラテン語で「外に出す」という意味で、すなわち「教育とは個性や能力を引き出すこと」となる。他国に比べて発想力や自発性に乏しい日本の詰め込み型の画一教育の弊害を指摘する際に、しばしば語られる話だ。  
 ■最近の高校受験では、中学校の内申点の比重が高くなり、高校受験の一発試験でいくら良い点をとっても内申点が悪ければ合格にならないという。だから普段の授業態度からしっかりとしないといけない、と。中間や期末試験の点数はもちろんな、手を上げ、忘れ物をせずに、課題は期限までに、子ども達は学校の顔色を伺いヒラヒラしている。普段の努力がきちんと評価されるという面もあるが、個性を引き出すという意味ではマイナス面も大きいのではないかな。  
 ■あわせて、自分たちを守るために、労働組合があることを義務教育でちゃんと教えてほしい。働く中で困ったら組合が力になってくれる。働くものが集まることで発揮できる、大きな力が保障されていることを。そうすれば私たちが取り組む拡大月間の成功の可能性は、格段に高まるに違いない。